

⑨【平成30年7月31日配信情報】

～航空局からのお知らせ～

[2018年7月31日]

★夏季運航における注意点（滑走路長）について ～東京航空局 航空従事者試験官 今村 元彦～

【事例1. ハワイでの夏の出来事】

「お土産もたくさん買ったし、燃料も満タン、ハワイはピーカン！レッツゴー！・・・えっ！？なんでメインギアが浮揚しないの！？」 迫り来るRWYエンド！！ ヤバい！！

【事例2. 那覇での夏の出来事】

「緊急発進！！燃料満タン！！いつもRWY-Occupyが長いと怒られるし、サービス精神旺盛にそれならと那覇RWY18インターセクションDEP at T-3、レッツゴー！・・・えっ！？V1までにもうこんなに滑走してしまっている！あれ！？なんでメインギアが浮揚しないの！？」 迫り来るRWYエンド！！いつもよりかなり悪い上昇性能（ほとんど上昇していない！）島が近い！！ヤバい！！

この上記2件は、何を隠そう恥ずかしながらも小官が経験したのですが、もしあの時エンジンに不調をきたしていたらと思うと背筋がぞっとします。

昨今発生した痛ましい事故にも同種の例があり、夏場はどんな飛行機でも性能が落ちてしまいます。

それは、離陸滑走開始から始まり、ローテーション速度に達するまでの間、またその後のメインギアが浮揚するまでの間や、その後の上昇性能に至るまで、場面場面でヤキモキすることが多々あるのではないのでしょうか。

メルマガ第1号でお知らせしましたが、平成29年9月25日に開催された第三回小型航空機等に係る安全推進委員会において、離陸重量等の出発前の確認の確実な実施並びに飛行規程の遵守及び非常事態への備えに関するリーフレットを作成・配布し、特定操縦技能審査の機会を捉え理解を確認することとなりました。

特に重量重心や離陸性能については、厳密に計算することはもちろん、許容重心位置範囲内であったとしても、どのような傾向があるかを掴み、過去の杵柄（きねづか）やプライドなどは拭い去り、無理な出発はせず、たとえ出発できるとしても理論に基づいた操縦操作に心がけることが肝要です。

また、当然ご存じのこととは思いますが、各機種によって離陸滑走距離を求める性能表が定めてあり、その算出結果から不具合発生時の対処方法などをきちんとイメージトレーニングした上でフライトを行うことにより離陸時の安全が保たれるのです。

性能表を見れば一目瞭然です。ただし、異常を認知し、判断し（GO or NO-GO）、操作して飛行機が反応するまでの所要時間は、基準時間はもとより個人差もあります。この間の空走距離まで考慮しなければなりません。

バーチャルな世界の話をもっとリアルな世界へ近づけることが出来るか、また、理論と運航がきちんと結びついているかが、その日の運命を決めると言っても過言ではないと思います。

これらは、夏だけに特化した話ではありませんが、性能が落ちる夏季運航では特に注意が必要です。

前述の事例1、2は、重量重心位置や必要滑走路長が適切であることを飛行前に確認していたにもかかわらず、体感した事例です。重量重心範囲内ではあるものの、その傾向をよく掴んでなかったこと、離陸滑走距離の算出等はしていたものの、どのような傾向があるのか等のイメージをよく掴んでなかったことで、慌てる結果となりますのでご注意ください。

まさに、「ぼーっと生きてんじゃねーよ！」（某TV番組）の世界ですね。

(補足) 平成 28 年 3 月に八尾空港で発生した小型機の航空事故に関して、運輸安全委員会が公表した事故調査報告書(説明資料)の 9 ページ目 <http://www.mlit.go.jp/jtsb/aircraft/p-pdf/AA2017-2-2-p.pdf> に事故当時の推定重量重心位置が掲載されています。事故機はその日、八尾空港から神戸空港へ向かい、神戸空港から八尾空港へ着陸する際の着陸復行時に墜落したわけですが、これによると、八尾空港離陸時は最大重量を 1511bs (約 68kg) 超過しており 4 名搭乗したことが間違いであったこと、また、神戸空港離陸時は前席と後席が交代しており重心位置も後方限界を超えていたことがわかります。

○運輸安全委員会ホームページ(過去の小型機事故調査報告書にも不適切な重量重心位置だった事例が紹介されています)

<http://www.mlit.go.jp/jtsb/index.html>

○離陸重量等の出発前の確認の確実な実施並びに飛行規程の遵守及び非常事態への備えに関するリーフレットについて

<http://www.mlit.go.jp/common/001204578.pdf>

○過去のメルマガ情報(航空局ホームページ)

http://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk10_000012.html

国土交通省 航空局 安全部運航安全課

MAIL : hqt-kogataki@ml.mlit.go.jp

TEL : 03-5253-8111 (内線 50135、50136)

小型機安全担当
